

Title	近畿大学におけるリポジトリの構築
Author(s)	伊豆田, 幸司
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/14172
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

DRF-Senri事例報告

近畿大学におけるリポジトリの構築

2009年1月19日

DRF-Senri(於:大阪大学コンベンションセンター)

報告者:近畿大学中央図書館事務部

伊豆田 幸司

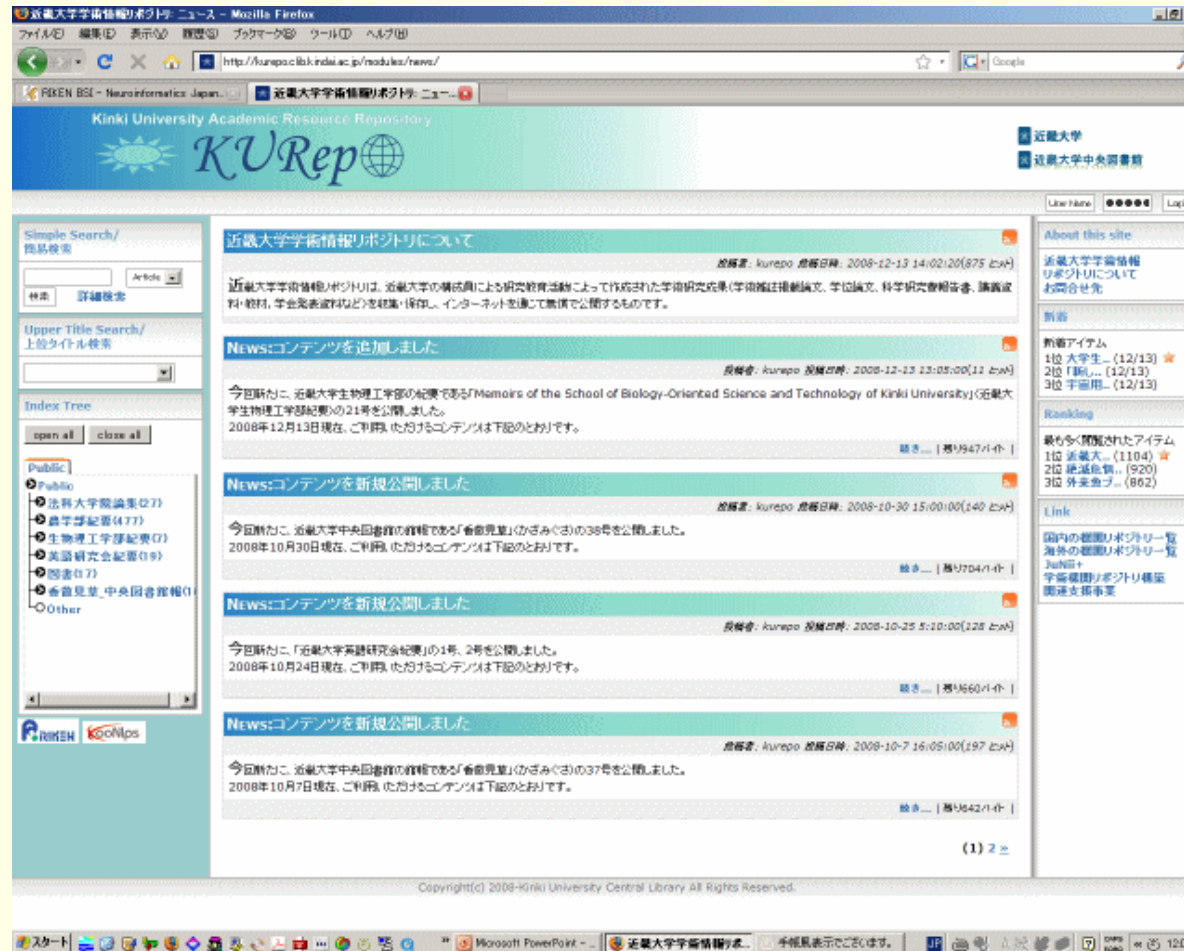
近畿大学沿革

- 1949(昭和24)年開学
- 本部のある大阪府東大阪市をはじめ西日本の6ヶ所にキャンパスを設置
- 現在11学部11研究科1専門職大学院(在籍者数約30000人) ※ 数字は平成20年5月度

近畿大学学術情報リポジトリ

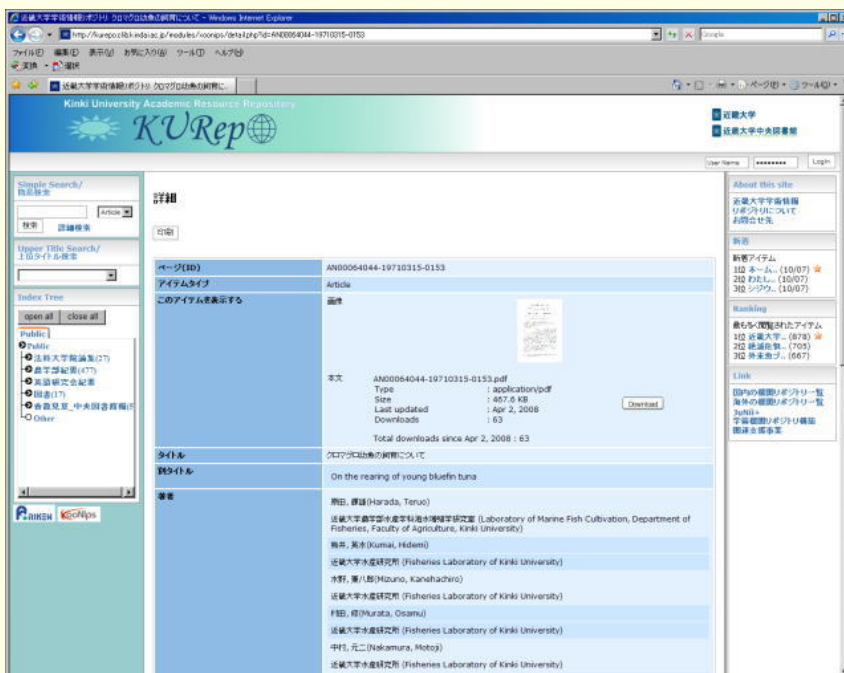
- 正式名 近畿大学学術情報リポジトリ
- URL <http://kurepo.clib.kindai.ac.jp/>
- システム XooNlps (XooNlps library modules)
- 2008年10月1日 本運用開始
- 学部紀要論文を中心に、557件のコンテンツを公開(※2008年12月末時点)

画面①

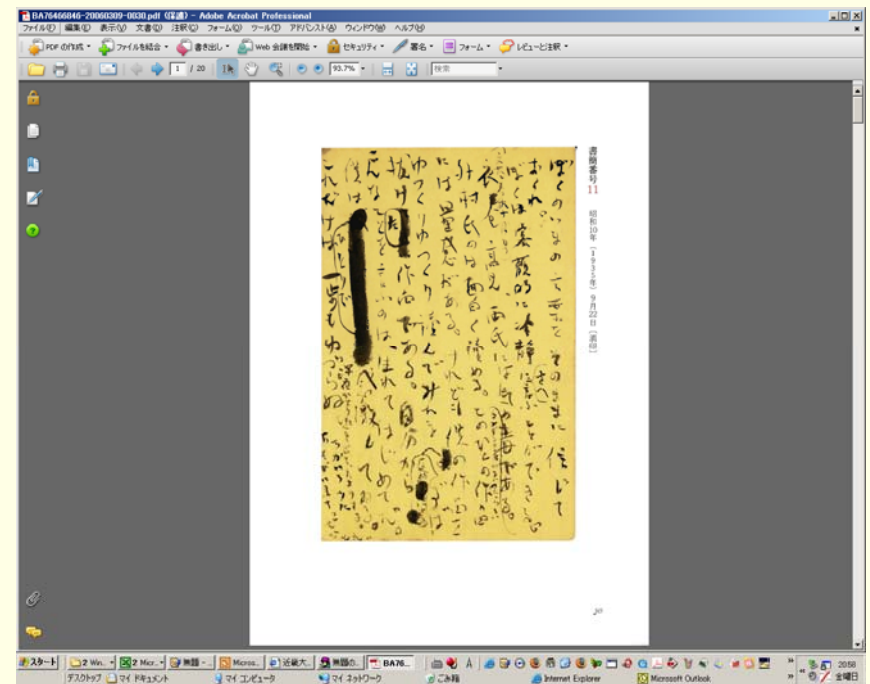


URL:<http://kurepo.clib.kindai.ac.jp/>

画面② (コンテンツ詳細画面とPDF)



コンテンツ詳細画面



コンテンツPDFデータ例

「太宰治はがき抄」P.30

リポジトリへの取り組み①

2007年4月	リポジトリ導入検討のためのワーキンググループ(WG)を立ち上げ。
2007年4月 ～7月	図書館システムベンダー（富士通製 iLis-surf、NTTデータ九州製NARIS-R など）や既存導入大学図書館へのヒアリング等を行う。

システム選定

- データセット (MODS=Metadata Object Description Schemaの採用)
- 国内で開発されたシステムであること。
- XooNipsライブラリモジュールの存在。
- 先行事例の比較検討。



XooNipsを採用

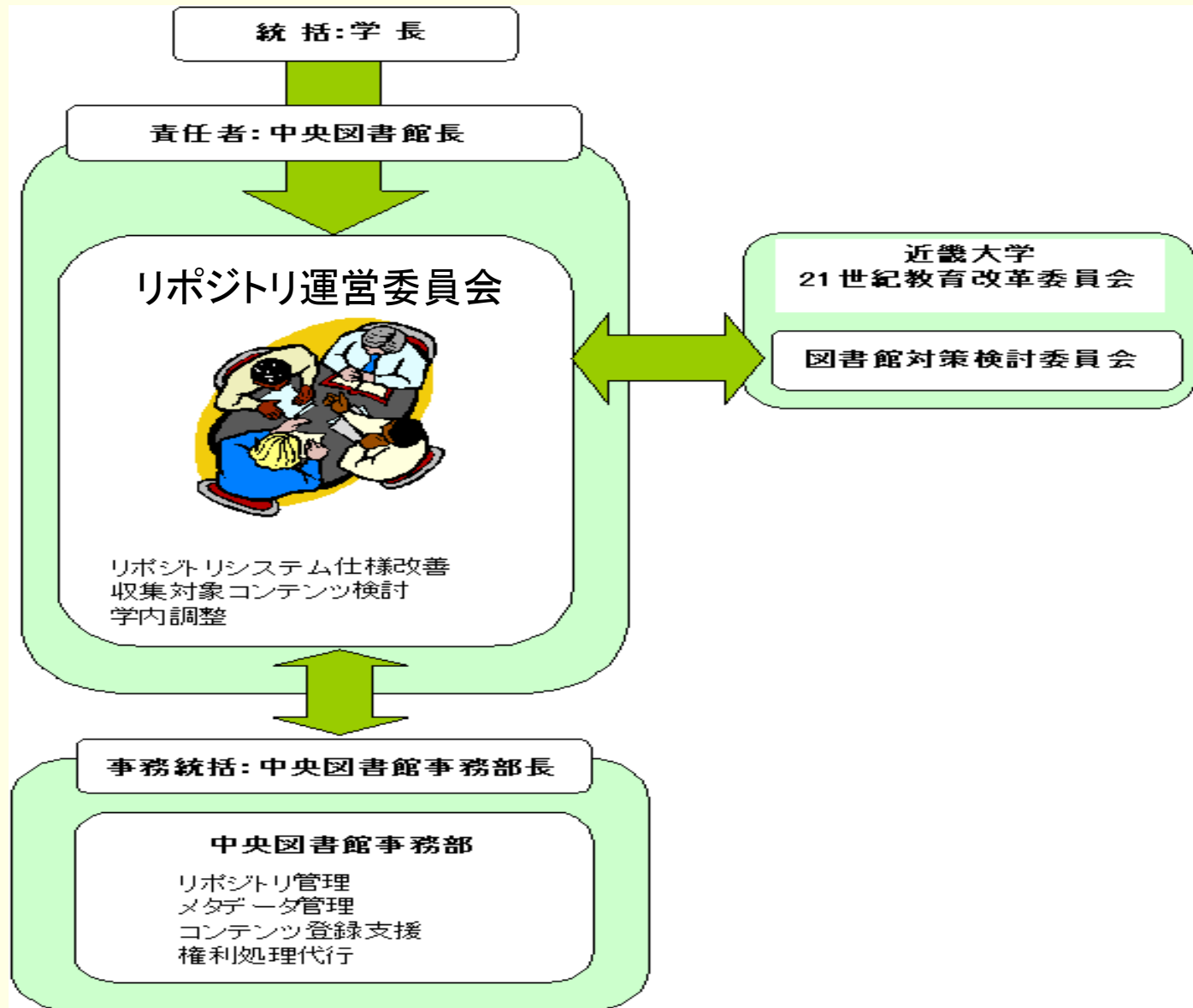
リポジトリへの取り組み②

2008年2月6日	図書館運営委員会にてリポジトリの立ち上げが承認される。
2008年3月19日	試験運用版を公開。
2008年8月	国立情報学研究所のCSI委託事業を受託。
2008年10月 1日	本運用版を公開。 WGを解散、担当者制に。

運営について

- リポジトリ運営委員会を学内に設置。
- セルフアーカイブ方式ではなく中央図書館事務部が主体となってコンテンツを収集、公開。
- 学内構成員によって生成された学術成果物（学位論文、査読誌掲載論文、紀要論文、研究報告書etc.）や、その他学内で生成された資料の継続的な収集、管理、公開を目的とする。

体制図



業務

- コンテンツ収集・管理
- 委託業者との打ち合わせ
- 著作権等権利処理
- 広報活動
- 委員会の運営
- (非定型的な)コンテンツ、メタデータの作成・規定の策定

※中央図書館事務部での担当者は4名(全員兼務)

課題

- 継続的な仕組み
 - 予算
 - データ収集
- データ、メタデータの保存形式
 - システム面
 - PDF(およびそれ以外のデータの保存について)
 - 図書館システムとの融和をどうとるか

今後の取り組み

- 内容の充実(もっとたくさんの情報を)
 - 多様なコンテンツの提供
 - CSI事業の受託による遡及データ入力の充実
- 機能の充実(もっと使いやすく)
 - 検索機能の充実
 - 日英言語切替対応
 - その他画面レイアウトの改良
- 認知度の向上
 - 学内外での認知度の向上

ご静聴ありがとうございました。